



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年7月22日

上場会社名 株式会社オービック 上場取引所 東
コード番号 4684 URL <https://www.obic.co.jp/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）橋 昇一
問合せ先責任者 （役職名）執行役員経営企画室長 （氏名）三由 光 TEL 03-3245-6510
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	36,698	13.2	24,860	15.7	32,049	17.7	22,697	16.3
2026年3月期第1四半期	32,431	12.7	21,479	15.2	27,238	18.0	19,512	16.3

（注）包括利益 2027年3月期第1四半期 7,127百万円（△77.6％） 2026年3月期第1四半期 31,798百万円（60.3％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	53.01	—
2026年3月期第1四半期	44.36	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	％	円 銭
2027年3月期第1四半期	583,973	492,772	84.4	1,143.49
2026年3月期	618,796	516,011	83.4	1,190.80

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 492,772百万円 2026年3月期 516,011百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	37.00	—	47.00	84.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		47.00	—	47.00	94.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	148,700	10.0	98,000	10.3	114,500	9.3	82,000	9.1	189.23

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	492,000,000株	2026年3月期	498,000,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	61,062,510株	2026年3月期	64,666,610株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	428,131,879株	2026年3月期1Q	439,893,890株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2026年4月21日発表の通期連結業績を修正しておりません。上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等の注記)	9
(重要な後発事象)	9
3. 補足資料	10
受注及び売上の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結結果計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善するなかで、各種政策の効果もあり、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、中東情勢や金融資本市場の変動による影響には引き続き注意が必要であり、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当情報サービス業界においては、企業のデジタル変革（DX）への取組などを背景に、企業の生産性向上や業務効率化を目的としたシステムの更新投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。企業のニーズは「効率的でコストパフォーマンスの高い情報システム」にあり、更なる顧客目線でのシステム提案が求められています。

当社は、このような状況の中、自社開発・直接販売にこだわり続け、顧客企業の経営効果を実現するため、製販サービス一体体制のもと顧客満足度を高めるべく努めてまいりました。当社の主力である統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、会計を中心に統合的に情報を管理するERPシステムとして、製造・流通・サービス・金融等、様々な業種・業界の大手・中堅企業からシステム構築の引き合いが強まりました。

システムの早期稼働につながりやすく、グループ全体の最適化やビジネス環境の変化にもスピーディに対応できるクラウドサービスのニーズについても、自社運営のクラウドセンターで提供し対応しております。また、クラウド関連施設等の設備増強やビジネスモデル特許の登録・出願、AIの活用、健康経営の取組の推進など、安定的な事業継続や当社の持続的成長につながる先行投資も継続して進めてまいりました。

この結果、当第1四半期連結結果計期間の連結業績は、売上高は366億98百万円（前年同期比13.2%増）、営業利益は248億60百万円（同15.7%増）、経常利益は320億49百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は226億97百万円（同16.3%増）となりました。

今後も当社は、顧客第一主義のもと、よりコストパフォーマンスの高いシステム提案ビジネスに注力し業績の向上に努めてまいり所存であります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(A) システムインテグレーション事業

主力の統合業務ソフトウェア「OBIC7シリーズ」は、統合的に情報を管理するERPシステムとして、様々な業種・業界の企業に求められました。主な傾向として、大手・中堅企業への新規顧客開拓が進み、付加価値の高い「OBIC7シリーズ」のシステム構築売上が堅調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は151億45百万円（前年同期比11.8%増）、営業利益は95億86百万円（同14.3%増）となりました。

(B) システムサポート事業

大手・中堅企業の顧客増加に伴い、主力のクラウドソリューションを中心に、ソフトウェアの「運用支援・保守サービス等」が好調に推移いたしました。

この結果、外部顧客に対する売上高は195億89百万円（前年同期比15.5%増）、営業利益は145億87百万円（同16.6%増）となりました。

(C) オフィスオートメーション事業

外部顧客に対する売上高は19億64百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益は6億86百万円（同17.2%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産合計残高については、前連結会計年度末比で348億22百万円減少し5,839億73百万円となりました。これは主に、投資有価証券が228億27百万円減少したこと及び現金及び預金が130億97百万円減少したことによるものであります。

負債合計残高は、115億83百万円減少し912億円となりました。これは主に、未払法人税等が82億73百万円減少したこと及び繰延税金負債が67億98百万円減少したことによるものであります。

純資産合計残高は、232億39百万円減少し4,927億72百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が154億68百万円減少したこと及び利益剰余金が48億15百万円減少したことによるものであります。結果、自己資本比率は84.4%となりました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,942億87百万円となり、前連結会計年度末に比べ、130億97百万円減少いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、148億50百万円（前年同期比5.5%増）であります。これは主に、税金等調整前四半期純利益が320億49百万円計上された一方で、法人税等の支払が170億75百万円発生したことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果増加した資金は、24億18百万円（前年同期は16億4百万円の増加）であります。これは主に、投資有価証券の売却による収入で26億5百万円増加した一方で、有形固定資産の取得による支出で1億72百万円減少したことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果減少した資金は、303億66百万円（前年同期は167億15百万円の減少）であります。これは配当金の支払が203億66百万円発生したこと及び自己株式の取得による支出が99億99百万円発生したことによるものであります。

なお、今後とも資金を企業の業績伸長のため有効に使用しつつ、「効率経営」に努めてまいり所存であります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は中長期的に安定した企業の発展を考え、業績のオペレーションを行っております。当第1四半期連結会計期間末現在、業績は概ね順調に推移しております。よって、2026年4月21日に公表しました業績予想の見直しは行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	207,385	194,287
受取手形、売掛金及び契約資産	18,666	20,328
商品及び製品	43	56
仕掛品	264	226
原材料及び貯蔵品	—	11
その他	1,509	1,618
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	227,866	216,527
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,283	21,926
土地	29,700	29,700
その他（純額）	3,467	3,181
有形固定資産合計	55,450	54,808
無形固定資産		
その他	152	163
無形固定資産合計	152	163
投資その他の資産		
投資有価証券	332,375	309,548
その他	2,953	2,928
貸倒引当金	△2	△2
投資その他の資産合計	335,326	312,474
固定資産合計	390,929	367,445
資産合計	618,796	583,973

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,842	5,717
未払法人税等	17,519	9,245
前受収益	1,335	2,799
賞与引当金	2,780	4,180
その他	7,374	8,068
流動負債合計	34,852	30,012
固定負債		
繰延税金負債	59,521	52,723
退職給付に係る負債	5,534	5,590
資産除去債務	843	844
その他	2,033	2,030
固定負債合計	67,932	61,187
負債合計	102,784	91,200
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,178	19,178
資本剰余金	19,839	19,413
利益剰余金	407,335	402,520
自己株式	△74,690	△77,117
株主資本合計	371,663	363,994
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	144,415	128,947
土地再評価差額金	△474	△474
退職給付に係る調整累計額	407	305
その他の包括利益累計額合計	144,348	128,778
純資産合計	516,011	492,772
負債純資産合計	618,796	583,973

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	32,431	36,698
売上原価	6,864	7,512
売上総利益	25,566	29,186
販売費及び一般管理費	4,087	4,325
営業利益	21,479	24,860
営業外収益		
受取利息	75	176
受取配当金	2,516	2,919
持分法による投資利益	1,457	1,811
受取賃貸料	549	598
投資有価証券売却益	1,521	2,003
その他	19	58
営業外収益合計	6,140	7,568
営業外費用		
賃貸費用	381	377
その他	0	2
営業外費用合計	381	380
経常利益	27,238	32,049
特別利益		
固定資産売却益	3	—
特別利益合計	3	—
特別損失		
固定資産除却損	0	—
会員権評価損	0	—
特別損失合計	0	—
税金等調整前四半期純利益	27,241	32,049
法人税、住民税及び事業税	7,677	9,208
法人税等調整額	51	143
法人税等合計	7,729	9,352
四半期純利益	19,512	22,697
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,512	22,697

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期純利益	19,512	22,697
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,068	△15,018
退職給付に係る調整額	△51	△83
持分法適用会社に対する持分相当額	269	△468
その他の包括利益合計	12,286	△15,570
四半期包括利益	31,798	7,127
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	31,798	7,127
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	27,241	32,049
減価償却費	608	683
持分法による投資損益 (△は益)	△1,457	△1,811
投資有価証券売却損益 (△は益)	△1,521	△2,003
賞与引当金の増減額 (△は減少)	1,287	1,400
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△270	△332
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△70	△66
受取利息及び受取配当金	△2,591	△3,095
固定資産売却益	△3	—
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	△893	△1,661
棚卸資産の増減額 (△は増加)	64	14
仕入債務の増減額 (△は減少)	△17	△124
その他	2,142	2,174
小計	24,517	27,223
利息及び配当金の受取額	3,952	4,701
法人税等の支払額	△14,393	△17,075
営業活動によるキャッシュ・フロー	14,075	14,850
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△438	△172
有形固定資産の売却による収入	5	—
無形固定資産の取得による支出	△1	△12
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
投資有価証券の売却による収入	2,040	2,605
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,604	2,418
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△9,999
配当金の支払額	△16,715	△20,366
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,715	△30,366
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,035	△13,097
現金及び現金同等物の期首残高	200,065	207,385
現金及び現金同等物の四半期末残高	199,029	194,287

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムインテ グレーション	システム サポート	オフィスオート メーション	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	13,551	16,958	1,921	32,431	—	32,431
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	—	18	18	△18	—
計	13,552	16,958	1,939	32,450	△18	32,431
セグメント利益	8,386	12,506	585	21,479	—	21,479

(注) 1. 「調整額」の△18百万円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムインテ グレーション	システム サポート	オフィスオート メーション	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高						
外部顧客への 売上高	15,145	19,589	1,964	36,698	—	36,698
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	0	—	14	15	△15	—
計	15,145	19,589	1,979	36,713	△15	36,698
セグメント利益	9,586	14,587	686	24,860	—	24,860

(注) 1. 「調整額」の△15百万円は、セグメント間取引の消去の額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

3. 補足資料

受注及び売上の状況

①受注実績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
システムインテグレーション事業	13,587	39.3	15,192	38.6	1,605	111.8%
システムサポート事業	18,879	54.6	21,857	55.6	2,977	115.8%
オフィスオートメーション事業	2,106	6.1	2,295	5.8	189	109.0%
合 計	34,573	100.0	39,345	100.0	4,772	113.8%

②売上実績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)		増 減	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	前年同期比
システムインテグレーション事業	13,551	41.8	15,145	41.3	1,593	111.8%
システムサポート事業	16,958	52.3	19,589	53.4	2,630	115.5%
オフィスオートメーション事業	1,921	5.9	1,964	5.3	42	102.2%
合 計	32,431	100.0	36,698	100.0	4,266	113.2%

以上